



2004.7.15
三国川ダム管理所発行

ダムっ湖



しゃくなげ湖まつり 7月25日(日)開催

一きらめく水と緑をあなたから未来へー

今年も毎年恒例「しゃくなげ湖まつり」の時期がやってきました。

しゃくなげ湖まつりは、「森と湖に親しむ旬間」(7月21日～7月31日)における行事の一環として、森林・ダム・湖沼に対する理解や関心を深めたり、上流水源地域住民と下流都市地域住民との交流を促すことを目的に行っています。

今年もダム地下トンネルの案内(炎天下の中でも気温12度でヒンヤリ)などの三国川ダム見学会をはじめ、カヌー・ラフティング・巡視船の体験試乗会、また野外ステージでは五十沢歌舞伎の上演や地元小学校の鼓笛隊演奏、木工教室、よさこい踊り、魚のつかみ取り(子供たちに大人気)などなど盛りだくさんの内容です。

詳細は「しゃくなげ湖まつり実行委員会」(電話025-774-2200)もしくは管理所までお問い合わせください。

5月12日「ダム管理演習」実施 —設備故障を想定した実践的訓練— じっせんてき

去る5月12日、三国川ダム管理所では「ダム管理演習」を実施しました。本演習は、洪水期を前に洪水時のダム操作を適切に行うために、三国川ダムのように国で管理しているダムの他、県で管理するダム、電力会社等が管理するダムも併せて全国的に毎年実施しているものです。

三国川ダムでは、今年度はいわゆる「危機管理」の観点から、ダムの心臓部ともいえるダム制御用のコンピュータが故障したとの想定で机上演習を行いました。通常はコンピュータの助けを借りながらダムからの放流量を決定し、ゲートの操作を行っていますが、今回の演習では全てを手計算で行いました。

演習は、本番の洪水時に勝るとも劣らない緊張感の中、各職員、決められた分担に従いテキパキと作業をこなし、無事終了しました。

今回の想定のように本番で設備が故障するようなことがないよう、随時点検・整備を行ってはいますが、それでも故障を皆無にすることは物理的に不可能です。そんな時でも適切なダム操作ができるよう、今後も常日頃から備えていきたいと思います。



ほうりゅうけい ほう せつ び

放流警報設備って、なあに??

今回は、ダム下流の住民の方にダム放流を知らせる放流警報設備を紹介します。

三国川ダムでは、降雨などによりダムに流れ込む水が多くなると下流へ安全な量に調節して放流することになっています。そして、その放流量が毎秒30[㍊]（300リットルの浴槽100杯分の水）を超えると下流の水位上昇が激しくなり危険が増すため、サイレンや放送により警報を流します。そのための設備を放流警報設備と言います。

三国川の周辺で「ダムから水を流しました…」と警報が聞こえてきたら、川の水位が高くなり危ないので、川から離れ、入っている人がいれば上がるよう注意して下さい。



はかせ さぐり博士

日之出放流警報所（宮地先）

「三国川ダム写真コンテスト」応募作品受付中!!

三国川ダムの新たな価値・魅力の再発見を目的に写真コンテストを開催しています。

詳しくは、三国川ダム管理所ホームページ（<http://www.hrrm.litgo.jp/saguri/>：応募要領をダウンロードすることができます。）をご覧になるか、三国川ダム管理所総務係（maillsaguri@hrrm.litgo.jp／tel025-774-3015）までお問い合わせ下さい。



「ダムっ湖」やダム周辺の案内板で「見学の受付は展示室で」と案内しているのをよく見るけれど、

いったい「展示室」ってどこにあるの??

さぐ君とりっちゃん、今日はさぐり博士と一緒に三国川ダムヘドライブに・・・

さぐ君：到着！天気はいいし、緑もきれい最高だねー！

りっちゃん：ほーんという気分。でも建物がいくつもあるけど、どこに行くと三国川ダムのことを教えてくれるのかなー？

さぐり博士：それはごめん、ごめん。管理所のダム湖側に回ってごらん。

そこに展示室があるよ。ちょっと分かりにくいかな。

さぐ君：あった、あった。入っていいのかな？

さぐり博士：さあ、どうぞ。

りっちゃん：あっ、中に受付があるわ。ここでは何をやっているのかしら？

さぐり博士：受付では、^{かんさろう}監査廊見学の申込み受付や、パンフレットの配布などをやっているんだよ。

りっちゃん：では、見学の受付お願いしまーす。それとパンフレットも下さい。

さぐり博士：この方がダムを案内してくれる勝俣さんだよ。

さぐ君・りっちゃん：よろしくお願いします。

勝俣さん：こちらこそ。ではご案内しましょう。



ここが展示室の入口



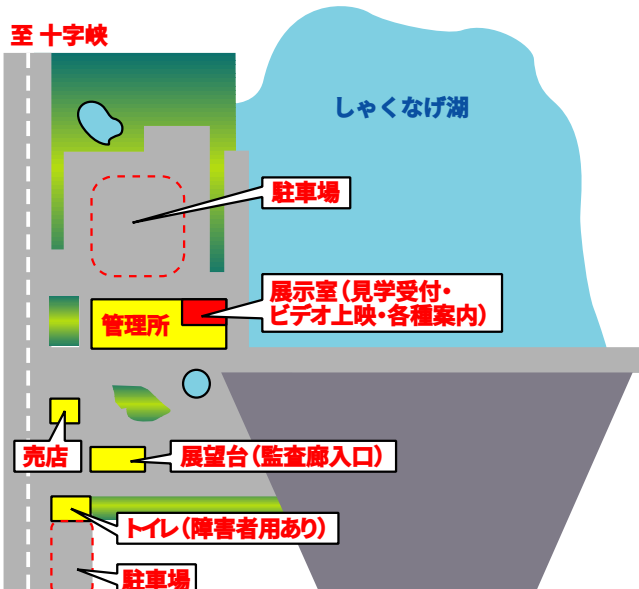
勝俣さんといっしょに



案内中の勝俣さん

…この先は勝俣さんがダムで直接ご案内します。お楽しみに。

至 十字峡



至 六日町市街

展示室は、5月1日から11月30日までの毎日午前8時45分から午後4時まで開館しています。展示室では、三国川流域の^{りったい も けい}立体模型の展示や、ダム完成までを記録したビデオやダム周辺の自然や地域の状況などを撮影したビデオを上映しています。

三国川ダムへお越しの際は、まず「展示室」へお立ち寄り下さい。各種案内やダム周辺を詳しく案内したパンフレットなどをお配りしております。きっとお役に立てるはずです。

監査廊の見学は夏休みに入ると混雑が予想されますので、お早めにお出かけ下さい。お待ちしております。

④
第2回しゃくなげ湖親子新緑ウォーク開催

去る5月30日(日)、しゃくなげ湖湖畔にて「第2回しゃくなげ湖親子新緑ウォーク」(「魚沼みどりの会」(会長:星野輝征氏)主催)が行われました。

当日は「雨」の予報であったにもかかわらず、うってかわっての「快晴」。この時期にしては暑いくらいの天気(三国川ダムでは最高気温27度)。30名の参加者は9時30分しゃくなげ観光センターを出発。ボートパークにて花苗の植栽。さらには桜の記念植樹。お昼は特製けんちん汁に持参したおにぎりをおいしく頂きました。

途中、「野鳥の達人」(桑原民生先生)他からしゃくなげ湖周辺の自然環境についてたくさんのお話を伺いながらのウォーキング。参加者の皆さんは大変充実した1日を過ごされたことと思います。

秋にも「紅葉ウォーク」計画していますので、今回機会を逃された方はぜひご参加ください。



6月11日に「しゃくなげ観光センター」から「しゃくなげ公園」までの植栽帯150m間に「サルスベリ」と「アジサイ」を植えました。当日はダムに関係する方々約30人が手分けをして一つ一つ丁寧に植えて行きましたが、あっという間に作業終了。ダム周辺に彩りが



そして、「訪れた方々がこの地域に対していいイメージを持つ」→「訪れる方々が増加」→「誇りを持てる地域」→「地域が元気に!」とつながって行けるようお手伝いできればと考えています。

「サルスベリ」…開花期間が長く、花の少ない夏を彩る花です。



今年も安全に・・・

今年も6月1日に全管理所職員でダム建設中に殉職された方々の慰霊碑に献花を行いました。

これは亡くなられた方々の霊を慰め、また、洪水期間(洪水の起こりやすい期間で6月1日から9月30日まで)中のダム及び下流河川の安全を願い毎年行っているものです。

これからの季節、雷雨等で川の水の量が急に増えることがあります。みなさん充分注意して下さい。



編集後記

この号がみなさんのお手元に届く頃には梅雨は明けているのでしょうか? 梅雨の時期は、ジメジメして何かと憂鬱で、早く夏が来ないかと思っ

てしまいます。でも三国川ダムでは、雨の多いこの時期が一番大事。憂鬱なんて言ってられません!!

最近は、大雨が降ったときの事故のニュースをよく目にします。三国川ダムでも安全には十分に注意しますが、みなさんも雨が降ったときは川に近づかないように、身近な人が川に行っていたら上がるように注意してください。

梅雨が明けたら夏本番!!夏のドライブに三国川ダムを訪れてみませんか?

(編集部一同)

◆編集・発行◆

国土交通省北陸地方整備局
三国川ダム管理所

〒949-6741
新潟県南魚沼郡六日町大字清水瀬 686-59

TEL (025) 774-3015

FAX (025) 774-3092

http://www.hrrm.lit.go.jp/saguri/



シャッピー